

放射性汚染と消費者意識についての学習講演会

主催：消費者庁・茨城県・協同組合ネットいばらき

福島原発事故以後3年を経過していますが、茨城県の農畜水産物に対する風評被害は、まだ払しょくできていません。この間、消費者庁、茨城県で風評被害関連の調査をおこなってきています。生産者・消費者一緒になって、調査結果を確認するとともに、私たちが取り組むべき課題の確認をしていきたいと思えます。同時に、内閣府食品安全委員会リスクコミュニケーション専門調査会座長の関澤純さんにご講演いただき、食品と放射性汚染についての現在の知見を学習していきます。

◆ 記念講演 関澤 純先生

(元内閣府食品安全委員会リスクコミュニケーション専門調査会座長)

「食品の安全と放射性汚染、今後の課題について

～子どもとくらしの明日のために～」

◆ 消費者庁 風評被害に関する消費者意識の実態調査結果

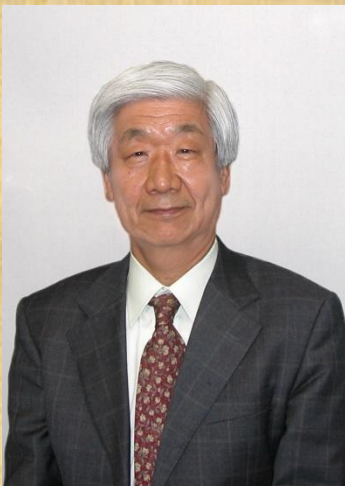
◆ 茨城県 茨城県産の食品に関する意識調査結果と県の取り組み

日時 2014年9月5日(金) 13:00～15:15

場所 茨城県水戸生涯学習センター3階 大会議室

対象 市民、学生、協同組合関係者どなたでも

12:30～13:00	受付
13:00～13:05	開会あいさつ
13:05～13:30	消費者庁：風評被害に関する消費者意識の実態調査結果
13:30～13:50	茨城県：茨城県産の食品に関する意識調査結果と県の取り組み
13:50～15:00	記念講演：食品の安全と放射性汚染、今後の課題について
15:00～15:10	質疑応答
15:10～15:15	閉会あいさつ



関澤 純 先生

NPO法人食品保健科学情報交流協議会理事長、世界保健

機関（WHO）の化学物質の安全性評価業務を20年以上担当、元内閣府食品安全委員会
リスクコミュニケーション専門調査会座長等

著書『食品の安全と放射性汚染』（コープ出版㈱）

問合せ・参加申し込み先
茨城県生活協同組合連合会

Tel 029-226-8487

Fax 029-224-1842

Mail ibkenren@ibaraki-kenren.coop